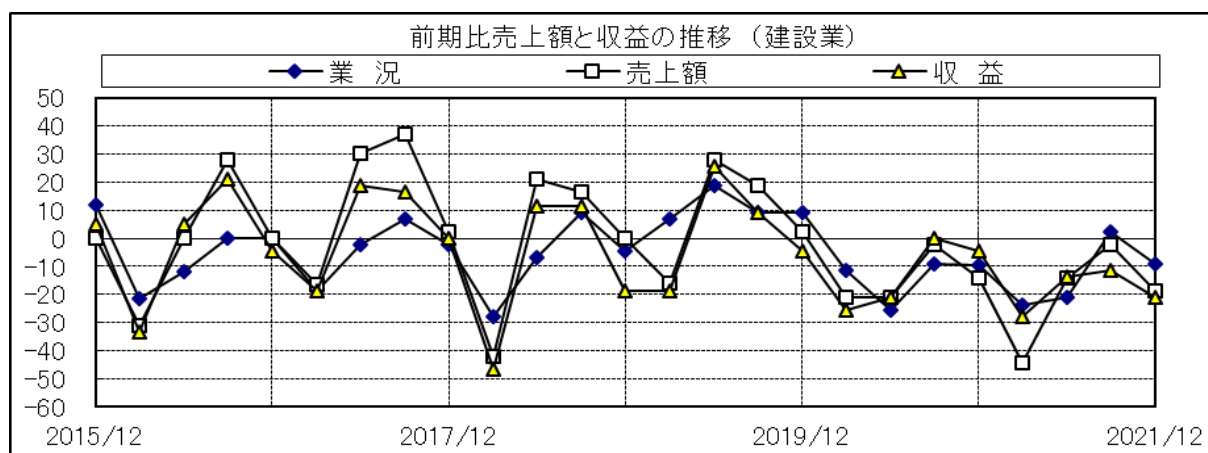


# 建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

## □ 景 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	-20.9	2.4	-9.3	-39.5
売上額	-14.0	-2.5	-18.6	-25.6
収 益	-13.9	-11.6	-20.9	-39.6

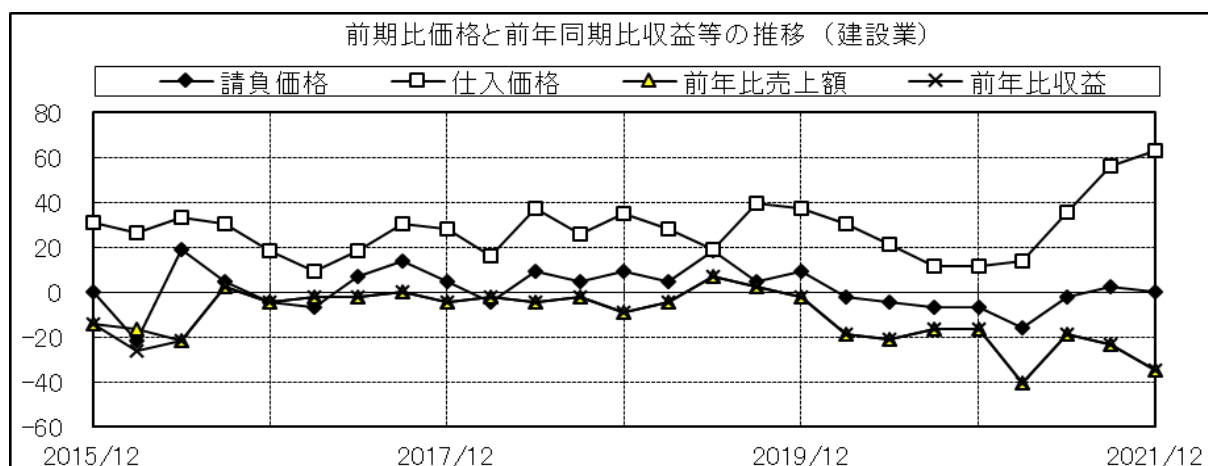
今期の業況判断 D. I. は△9.3 で、前期比 11.7 ポイント下降。前年(△9.4)比では 0.1 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりもが最も高く、次に浦河・静内・広尾が同水準で続き、次に様似、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、△18.6 で、前期比 16.1 ポイントの下降。収益判断 D. I. は△20.9 で、前期比 9.3 ポイント下降した。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
請負価格	-2.4	2.3	0.0	-14.0
仕入価格	35.7	55.8	62.9	46.5

請負価格判断 D. I. は 0.0 で、前期比 2.3 ポイント下降。前年(△6.9)比 6.9 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 62.9 で、前期比 7.1 ポイント上昇し、前年(11.7)比 51.2 ポイントの上昇となった。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	-16.3	-7.1	-16.3	-9.4
人手状況	-16.2	-23.3	-30.3	-9.4

残業時間判断 D. I. は△16.3 で、前期比 9.2 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△30.3 で、前期比 7.0 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

## □ 設備投資の動き

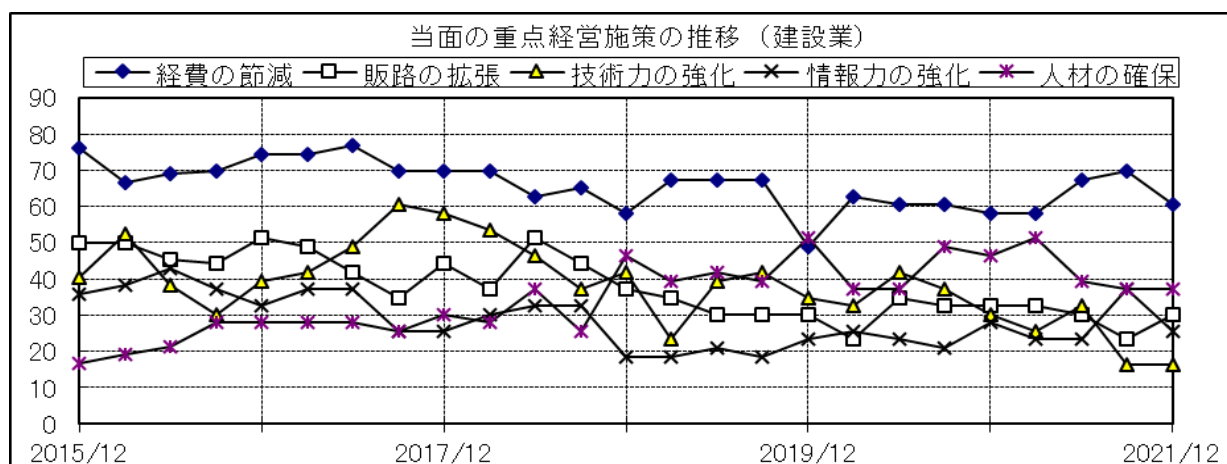
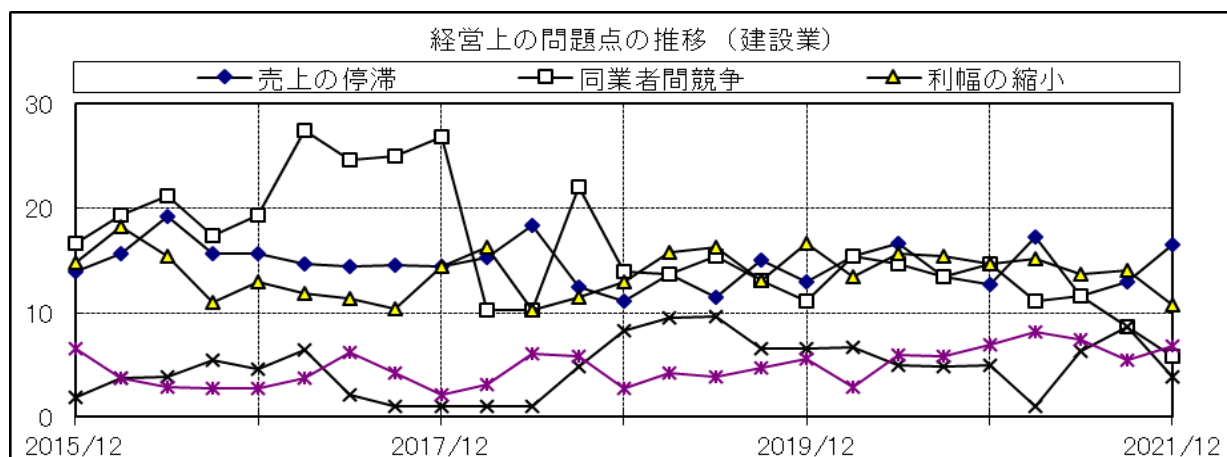
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期( $\Delta 9.3$ )比9.3ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は4.7で、前期(25.6)比20.9ポイント下降した。設備投資は、前期11社に対し、2社の実施となった。来期の設備投資は、2社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が21.4%と最も多く、次に「売上停滞」16.5%、「人手不足」11.7%、「利幅縮小」10.7%、「下請確保難」9.7%、「地場産業衰退」6.8%、「同業者競合」5.8%、「人件費増加」・「諸経費増加」・「天候不順」が3.9%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が60.5%と最も多く、次に「人材確保」37.2%、「販路拡大」30.2%、「情報力強化」25.6%、「技術力強化」16.3%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 39.5$ と、今期比30.2ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 25.6$ と、今期比7.0ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 39.6$ と、今期比18.7ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は $\Delta 14.0$ と、今期比14.0ポイントの下降を見通している。

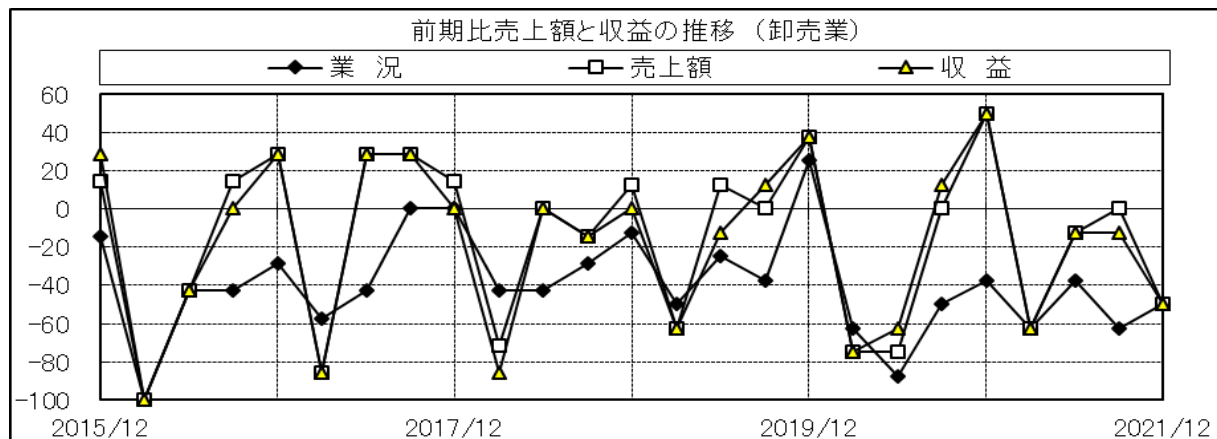
予想仕入価格判断D. I. は46.5と、今期比16.4ポイントの下降を見通している。

## 卸 売 業 8 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

### □ 景 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	-37.5	-62.5	-50.0	-62.5
売上額	-12.5	0.0	-50.0	-75.0
収 益	-12.5	-12.5	-50.0	-75.0

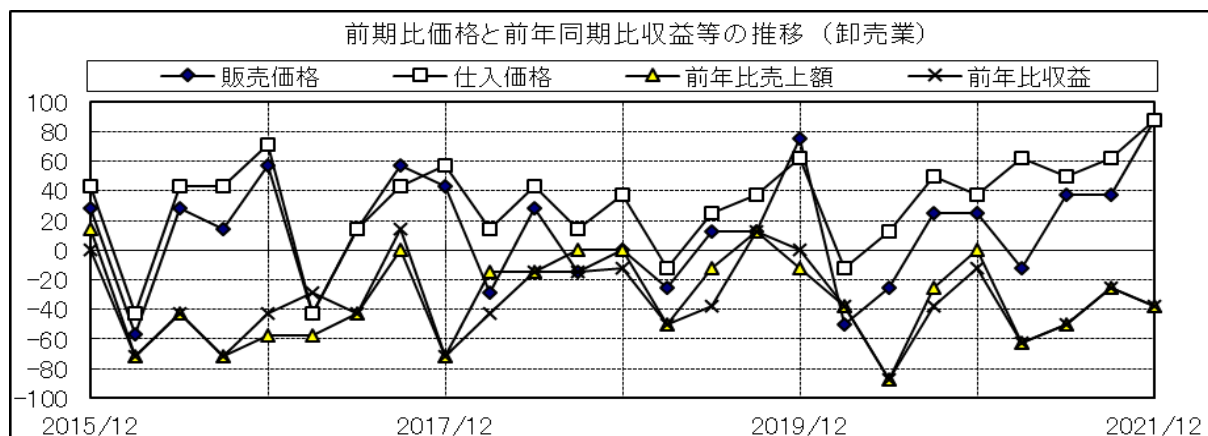
今期の業況判断 D. I. は△50.0 で、前期比 12.5 ポイント上昇した。前年(△37.5)比 12.5 ポイント下降した。地区別の水準は浦河、様似地区は横這い、静内地区は上昇した。売上額判断 D. I. は△50.0 で、前期比 50.0 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△50.0 で、前期比 37.5 ポイント下降した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
販売価格	37.5	37.5	87.5	25.0
仕入価格	50.0	62.5	87.5	37.5

販売価格判断 D. I. は 87.5 で、前期比 50.0 ポイント上昇した。前年(25.0)比 62.5 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 87.5 で、前期比 25.0 ポイント上昇。前年(37.5)比 50.0 ポイント上昇した。業種別では、水産業は、販売・仕入価格ともに上昇した。食品業は販売・仕入価格ともに横這いとなった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	25.0	-37.5
人手状況	0.0	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は 25.0 で、前期比 25.0 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、人手不足感に変動は無かった。

## □ 設備投資の動き

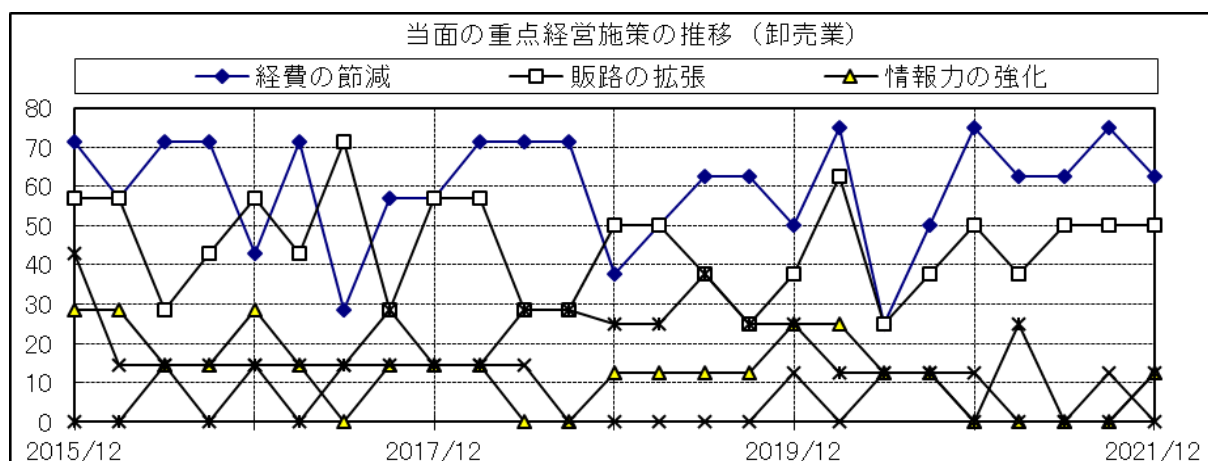
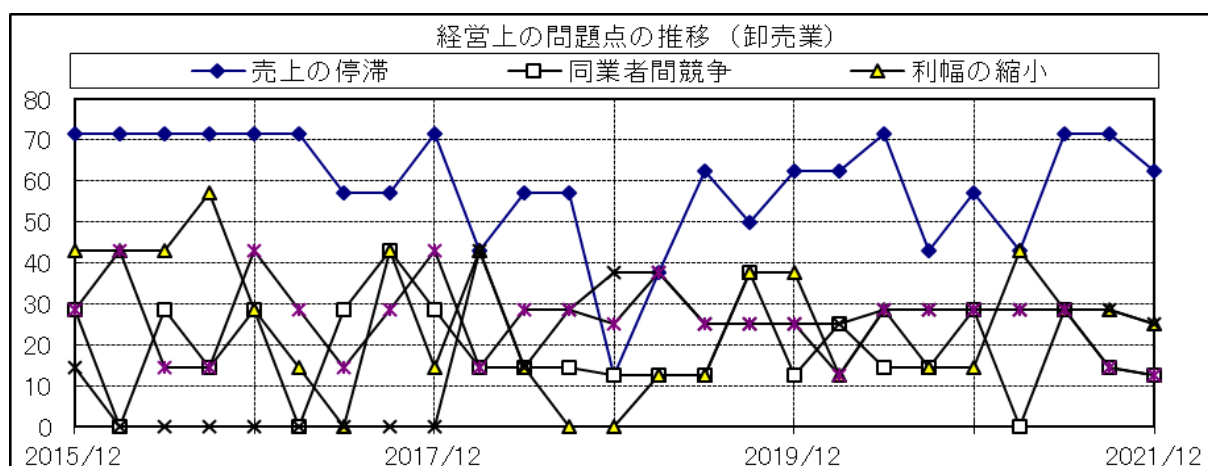
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(0.0)と同水準となった。

設備実施企業割合は0.0、前期(25.0)比25.0ポイント下降した。設備投資は、前期2社に対し、0社となった。来期の設備投資予定は0社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が62.5%と最も多く、次に「値上要請」50.0%、「販売商品不足」37.5%、「利幅縮小」・「取引先減少」・「天候不順」が25.0%、「同業者競合」・「店舗老朽化」・「地場産業衰退」が12.5%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が62.5%と最も多く、次に「販路拡大」50.0%、「品揃え充実」25.0%と続き、「情報力強化」・「新事業開始」・「人材確保」・「輸入商品取扱増」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△62.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△75.0と、今期比25.0ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△75.0と、今期比25.0ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は25.0と、今期比62.5ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は37.5と、今期比50.0ポイントの下降を見通している。